

## 鎌倉文学館指定管理業務 実績評価（令和2年度第1四半期）

### 1 利用の承認等に関する業務

#### (1) 来館者数の動向

4月から6月までの来館者数は1,660人で、昨年度の第1四半期と比較して、40,092人、約96%の減となった。

#### (2) 分析

令和元年度第4四半期の2月28日から引続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、6月8日まで臨時休館とした影響が顕著に表れた結果となった。例年5月から6月にかけて多くの来館者を獲得するバラまつりの時期が休館期間中であったこと、緊急事態宣言が解除された5月25日後も外出を自粛する傾向が強かったことが原因であると思われる。

### 2 施設及び設備並びに文学館資料の維持管理に関する業務

#### (1) 施設・設備

ア 設備機器の保守点検について計画どおり行われた。

イ 消防用設備点検の際に、2階特別展示室ガス圧ダンパーの閉鎖保持不良があったため、点検時に調整が行われた。

#### (2) 文学館資料

ア 文学館資料の特別利用について適切な事務処理によって行われている。(1件)

### 3 文学館の事業の企画及び実施に関する業務

#### (1) 展覧会

臨時休館に伴い、令和元年度から継続して実施を予定していた収蔵品展等を中止したが、再開後は、事業計画を変更して特別展及び常設展を開催した。

ア 収蔵品展「作家と歩く鎌倉 その4 長谷・稲村ガ崎方面」(2月28日～4月12日臨時休館により中止)

イ 特別展「没後10年 井上ひさし、鎌倉の日々」(4月18日～7月5日開催予定分を、6月9日～8月23日に会期変更)

ウ 常設展「鎌倉ゆかりの文学」(4月1日～4月12日開催予定分は臨時休館により中止、4月18日～7月5日開催予定分は、6月9日～8月23日に会期変更)

エ ミニ特集「関東大震災をこえて～久米正雄」(3月8日～4月12日臨時休館により中止)

オ ミニ特集「生誕130周年 日夏耿之介」(4月18日～7月5日開催予定分を、6月9日～8月23日に会期変更)

#### (2) 普及事業

ア 文学散歩等が、臨時休館と感染拡大防止の観点から複数の事業が中止となった。

イ 5月～6月に予定していた、例年人気の高いバラまつりが臨時休館と感染拡大防止の観点から中止となった。

ウ 参加型の文学講演会やワークショップは感染拡大防止のため中止としたが、代わりに

文学講演会や朗読ワークショップ等の動画配信を予定している。(8月21日より一部配信開始)

(3) その他文学の振興及び文学館の設置目的を達成するために必要な業務

ア 市内在住の童話作家 角野栄子さんが自身の作品を朗読する「角野栄子さんのおはなしの扉」を4月、6月に各1回の開催を予定していたが臨時休館と感染拡大防止に伴い中止となった。

イ 深沢学習センターでの出張講座や吉屋信子記念館の展示協力等は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

4 文学館資料の収集、保存、整理に関する業務

(1) 資料の補修を適宜実施した。

5 その他市長が定める業務

(1) 文学館資料の調査及び研究

新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館により、中止となった事業があり、事業計画の変更があったが、再開館後は、変更した事業計画に則り特別展等を開催した。

(2) 事務処理

ア 例月の指定管理業務報告書等が期日までに提出された。

(4月分:5月14日、5月分:6月12日、6月分:7月14日)

イ 展示替えに伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。

(3) その他

ア SNSでの情報発信により、展覧会や関連イベントのタイムリーな情報を、幅広く周知した。

イ メディア対応を積極的に行った。

ウ 近隣保育園の受入を行った。

6 全体評価

(1) 第1四半期の観覧者数(1,660人)は、令和元年度(41,752人)と比較して、40,092人・約96%の減であった。また、前指定管理期間の平均値(54,144人)と比較して52,484人・約97%の減であった。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、例年多くの来館者数を集めているバラまつりの時期(5月8日～6月14日予定)を含んだ2月28日から6月8日までの期間を継続して臨時休館とただけでなく、2月頃から引続き旅行や外出を自粛する傾向があったこと、再開館後は館内の清掃・消毒を行うため開館時間を短縮した点も要因として挙げられる。

(2) 前年度から継続して、収蔵品展「作家と歩く鎌倉 その4 長谷・稲村ガ崎方面」や常設展等を開催する予定であったが、臨時休館により中止とした。次に予定していた特別展「没後10年 井上ひさし、鎌倉の日々」やミニ特集「生誕130年 日夏耿之介」は会期を変更して行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり来館者数は伸び悩んでいた。

今後は、感染拡大防止措置を講じたうえで、いかに早く来館者数を回復させるかについて検討の必要がある。

(3) 臨時休館中にも、文学館や文学に関心を持ち楽しめるよう、SNSを活用し、疫病退散に御

利益があるとして話題となった「アマビエ」といったトレンドを取り入れた情報発信を頻繁に行っていた点は評価し得るものであり、今後もSNSを活用したタイムリーでユニークな情報発信を期待したい。また、SNSやインターネットを利用していない層にも興味を持ってもらい、来館に繋げていくような取組みを期待したい。

- (4) 施設・設備管理について、事業計画に基づき適切に行われている。施設、設備ともに老朽化が進む中、日頃から適宜点検に努め、重大な事態を未然に防いでいる。今後も修繕箇所を予め把握し、優先順位をつけて修繕を行っていくよう留意されたい。

鎌倉文学館 令和2年度 第1四半期 判定評価

評価項目	配点	第1四半期 評価結果	減点
<b>1 利用の承認等に関する業務</b>			
来館者数の動向			
入館者数が前指定管理期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
特別利用			
資料に悪影響が出ないよう適正な承認を行っているか	10	○	
<b>2 施設及び設備並びに文学館資料の維持管理に関する業務</b>			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
文学館資料の維持管理			
収蔵品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、収蔵品が適切に取り扱われているか	5	○	
<b>3 文学館の事業の企画及び実施に関する業務</b>			
展覧会			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
普及事業			
計画どおりに普及事業が行われているか	5	○	
文学館資料の調査及び研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
調査・研究の成果を市民等に公開されているか	5	○	
その他必要な業務			
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
<b>4 文学館資料の収集、保存、整理に関する業務</b>			
収集、保存、整理			
文学館の趣旨にあった資料の購入ができていないか	5	○	
寄贈・寄託の手続きが適切に行われているか	5	○	
劣化した資料の修繕や補修が行われているか	5	○	
基準に沿った資料整理が行われているか	5	○	
<b>5 その他市長が定める業務等</b>			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告がなされているか	5	○	
その他			
適切に収蔵品管理システムが運用されているか	5	○	
備品や文学案内板等の管理が適切になされているか	5	○	
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
<b>減点の計</b>			<b>0</b>

実施されている場合・○ 実施されていない場合・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%